

南山見公民館報

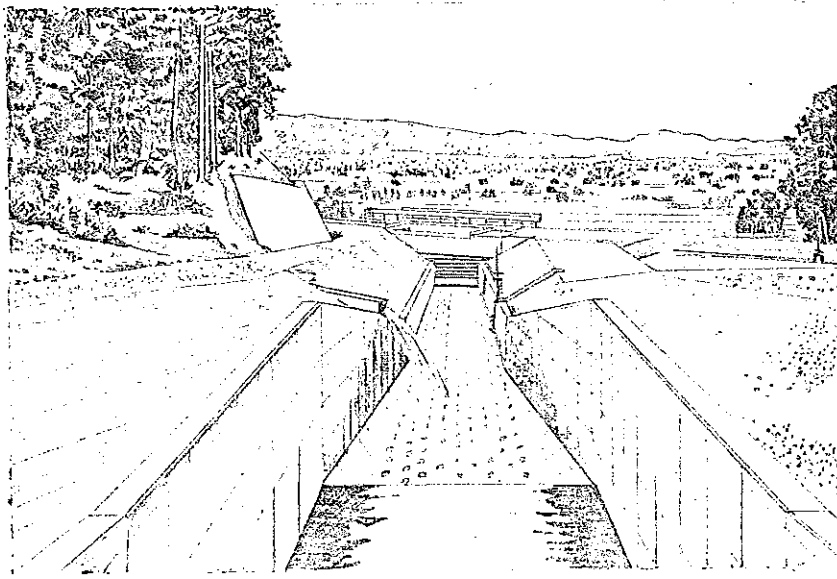
八乙女

編集 南山見公民館
発行

昭和54年5月30日発行

No. 5

富山県東砺波郡井波町
TEL(07638) 5176



之
田村淳子

工成りし西大谷川
シヤガの花

公民館おもなよてい

- 四月 環境美化(春季大掃除)
 - 五月 機関紙「八乙女」五号発行
 - 六月 環境美化(蚊、ハエ一斉防除)
 - 七月 体力づくりレクリエーション、環境美化(蚊、ハエ一斉防除)
 - 八月 機関紙「八乙女」六号発行、納涼盆踊り大会、スポーツ大会
 - 十月 地区民大運動会
 - 十一月 機関紙「八乙女」七号発行、地区民文化祭、スポーツ大会
 - 十二月 町政こん談会、環境美化(年末大掃除)
 - 一月 文化講演会
 - 二月 機関紙「八乙女」八号発行
- ◎毎月五日を運営審議委員の定例会
- ◎少年研修館の行事活動の他に毎週金曜日、書道教室、水曜日は珠算教室、土曜日はよい子教室
- 第二、四日曜はスポーツレクリエーション教室を開設している。

昭和54年度南山見公民館収支予算書

予算編成に
ついてお願い

収入の部		53年度決算	54年度予算	維持管理費	171,213	150,000
料 目				人件費	642,500	682,500
事業・管理交付金		613,400	916,000	報酬費	50,000	100,000
一般交付金		255,000	255,000	備費	0	100,000
維持管理交付金		26,400	131,000	育成費	20,468	70,000
特別交付金		300,000	500,000	雑費	40,830	50,000
体づくり教室補助金		32,000	30,000	事業費	507,421	670,000
寄付金		18,000	50,000	納京大会費	28,600	20,000
寄付金		18,000	50,000	体づくり費	271,860	330,000
事業賦課金		944,675	550,000	環境美化費		45,000
事業負担金		472,000	550,000	公民講座費	7,100	20,000
運営賦課金		472,675	540,000	広報活動費	64,000	35,000
繰越金		10,527	783	体育大会費	62,166	70,000
前年度繰越金		10,527		文化祭費	41,695	50,000
報酬金		50,000	50,000	少年研修館育成費	32,000	100,000
役員手当金		50,000		事業委託費	100,000	100,000
雑収金		23,825	1,500	青年団会費	20,000	20,000
預金の利息		381		婦人部会費	30,000	30,000
その他		23,444		成年部会費	10,000	10,000
合計		1,660,427	2,108,283	児童クラブ育成会費	10,000	10,000
				母親クラブ	10,000	10,000
				老人クラブ	10,000	10,000
				予備費		783
				合計	1,659,644	2,108,283

支出の部		53年度決算	54年度予算
料 目			
運営管理費		1,052,223	1,302,500
会議費		18,047	50,000
事務通信費		109,165	100,000

公民館長 前川 裕

私どもが生産健康で住みよい郷土づくりの香りに、文化を築いて行くために、多少とも厳しい規律や規範を作り、しかもそれに苦痛を感じないよう、自分自身を人間的に向上して、いくと、ここにこそ文化があり、地域づくりがなされるものと思われます。それらを基本として、本年度は生涯教育の各分野にきめ細かい配慮をしなが、みんなが楽しく参加できる広場にしたいと念願し編成しました。なお、不足のところは多少ご負担をお願いし、よりよい環境づくりの一層のご理解を賜り、ともに手をつなぎ、輪を広げていこうではあります。か。新年度発足にあたり、お願いがたがたご挨拶申し上げます。

(武田久太郎記)

高令者趣味のつどい

町の老人クラブ連合会では、趣味のクラブ活動とをり入れておりますが、南山見の参加者が少く心配しております。この度、地域高令者学級が書道、抹茶、煎茶、手芸の各クラブを開設し、講師に 朝倉一夫氏、田中正夫氏、大田氏、手芸は 婦人学級に合同し、発足することになりました。また、墨絵、民謡クラブは町老人クラブで行っており、す。成果を文化祭に発表し、批判をいただき、素直な気持ちで自己啓発に努め、我々の生きがいを見つけていきたいと思っております。

学級紹介シリーズ

婦人学級

婦人学級の中にレクリエーション部会が出来て

田中美智子

一年間スポーツ、ダンス、民謡、軽スポーツなど一回三十名程の出席でした。どの先生もユーモアたっぷり教えたいだき終始楽しい一年間でした。これまで民謡踊りがあんなに身体を動かすことは気分が爽やかでした。若い人はスポーツに年輩の方は民謡踊りなどに多いようでした。五十四年度は体力作り教室もすることになり、またやったことのないソフトボール、マラソン、昨年と同様に民謡、ダンス、縄跳びなどいろいろ計画しております。

家庭部会より

田村一子

立派な調理室に真新しい調理用具の揃った中で、明るく健康な暮らしをめざして、年八回の料理実習と四回の手芸をしました。農繁期の手軽な料理、果実酒作り、貧血予防の料理、米を便った料理、スキんミルフの料理、漬物講習、みんなど、時々栄養のバランスと一日の必要量についての勉強は良かった様に思います。参加者が少なくて残念でした。

昨午をふりがえって

龜田多喜

会員の皆様にはご熱心に活動に参加され、部会の進捗に寄与されました事を厚くお礼申し上げます。文化部は茶道、華道、書道、読書の各クラブで構成され進めて参りましたが、初年度の事にて基礎的な事しか出来なかつたのですが、一日

の疲れも忘れて出席なさった皆様の顔は、生々として先生との対話もはずみ、仲間づくりも出来本當に楽しい会でありました。今後は又会員として仲間をまてていただき、微力ながら文化部の繁栄につくしたいものと存じます。

南山見地方は、各地より石斧や土器が出上し、古くより人が活上と水を求め、氾濫をさけて住みついていたことがうかがえる。昔の村づくりは水系によつて管轄されてきたが、近世は郷組を以てされてきた。二年、村制設置の際、山見郷の南に位置するとうこので南山見村として発足した。

みなみやまみの名称

一 校史より

役員紹介

「運営審議委員」前川 裕 須川利夫、沢田久夫、山本 助次、高瀬浄泉、箭原武平 朝倉三郎、小橋松子、朝倉 一夫、倉島清時、龜田信一 武田久太郎、箭原幸吉、松 田健二、前川敏彦、前田喜 代子、沢田武夫、前川寿美 子、直江喜美代、広瀬幸子 山本幸雄

「運営委員」 松田忠三、山口辰治、田村 良樹、前田誠一、谷川有吉 池田勲夫、朝倉和夫、藤井 巧、前田八郎、清原多嘉次 小橋昭夫、箭原武平、前川 源亮、高田達二 「スポーツ推進委員」 山田勝弘、田中一昭、山本 彰、山本保彦、林友之、龜 田信一、井上辰夫、龜田博 信、小橋函吉、小橋文嗣、 岩崎義一、横江洋美、山本 喜平

各団体の主なる活動状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
壮年部		田植後の水田 農事講習 (管理)	金裁講習 (サツキの手入れ)	教養講座 (郷土史)	農事講習 (稲作登熟期 管理)		教養講座 (農家経営)	自治講座 (郷土史)	農事反省会 (稲作の反省)	教養講座 (正月用寄せ植え作り)		定期総会
成年部		町政を語る会 農事講習	講演会 農事講習	ソフトボール 農事講習	盆踊り 農事講習		研修会 (公民館活動)	町政を語る会	農事反省会	レクリエーション	家庭スポーツ 講演会	定期総会
青年団	新入団員 歓迎会		区成体育大会	キャンプ大会 環境美化協力	盆踊り大会	電話教室 園内研修	町青協 文化祭	料理教室 ダンス講習	反省会	お茶会 スキー大会 成人者の集い	映画会	定期総会
婦人会	婦人学級 開講式	婦人検診	ポール大会 ママサンパレー 農事教室	ボウリング大会 研修旅行	敬老会 研修旅行	幹部研修会 祭品回収	郡意見発表 大会	県意見発表 大会	生花料理講習 会	歳末助け合運動 町政を語る会	新年組合せ 講演会	婦人学級開講式 総会
高令者学級		孫の教育講座 開講式	老人と社会	日帰り研修 老人と健康	宗教講座 レクリエーション		日帰り研修 本力づくり	宗教講座	クリスマス集い	開講式		
たんばは学級		動物の親子 母と子の交流	安全教室 母と子の交流	親子ハイキング	夜の集い	運動会		子供の心理 絵を通して をみる		おやつづくり 母と子の	講演会 雪のカーニバル 親子で作る	反省会
少年研修館	定期大集会	よい子大会		七夕祭	一泊研修	親子オリエン テering			クリスマス大会		節分	よい子大会

公民館利用あれこれ

開館とともに子どもたちは卓球、バドミントン、ソフトボールなどで連日にごまかば笑顔を見せてくれます。まず映画紙芝居卓球の相手夏の暑い日はアイスクリームでのどを冷やし、遊びの中に本に親しむよう努力してきました。小さい指でパチパチはじく珠算、手のひら服まで墨をつけすましている子どもたち、又熱戦あふれる部落対抗運動会、各種学級の腕を競う地区文化祭、行手が進むにつれ子どもたちへの本の貸し出しもセルフサービスにおばちゃん始めとって山親切やつたけれど、でもみんな本を借りるルールが分ったでしよう。このことばに思わずにっこりと、幼児から高令者発的な学習を進めるために始めと終りの時間はおたがいに守りたいものです。

12487
 1979. 5. 30
 2022